



笠間市交通安全母の会

さくら

第13号

発行日 令和元年5月31日

発行 笠間市交通安全母の会

発行人 安達 あき子



7/20 茨城県交通安全キャラバン隊メッセージ伝達式

笠間市交通安全母の会

会長 安達 あき子

このたび「さくら」第13号を発行できますことは、皆様方のご協力とご理解のたまものと感謝申し上げます。

私も会長の職をいただき一年が過ぎました。前会長の方々の名を汚さずに「交通安全は家庭から」の合言葉を大切に進んで行こうと無我夢中での一年だったように振り返ります。

各小学校・幼稚園・保育園・子ども園での交通安全教室のお手伝いは、子ども達からのパワーをもらい、勉強させていただき会員相互の繋がりが、これからの課題など見つけさせていただき、今年度は、それを糧に進んで参ります。

交通安全は皆様一人一人の注意と余裕を持った運転と「行つてらっしゃい。気をつけて」と毎日の声かけが必要ではないかと感じます。

また、近年増えております高齢者の交通事故により、悲しい思いをする方を少しでも減らせるように、お宅訪問や色々な会合にお邪魔させていただき反射材を付ける大切さなどをお話させていただいております。

私たちの母の会の活動を一人一人の方々にご理解・参加していただきますよう今後とも努めて参ります。

TOPICS!

9/13 旭西高齢者クラブ交通安全教室開催



↑ 旭西高齢者クラブの皆さんが交通安全について熱心に聞いていました。

11/10 南友部高齢者の集い



↑ 交通安全についての講演を行いました。皆さんうなづきながら聞いていました。

4/25 岩間第一小学校交通安全教室



↑ 初めての自転車良く乗れました。

6/13 友部保育園交通安全教室開催



↑ 横断歩道を手を上げて渡ります。

●●●●● 平成 30 年度決算報告 ●●●●●

収入の部 (単位:円)				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
会費	1,825,000	1,826,800	1,800	18,268戸×100円
助成金	200,000	200,000	0	市補助金
交付金	38,600	36,000	△ 2,600	県交母連
雑収入	118	5	△ 113	預金利子
繰越金	36,282	36,282	0	前年度繰越金
合計	2,100,000	2,099,087	△ 913	

支出の部 (単位:円)				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
事業費	1,830,000	1,704,956	△ 125,044	啓発品・会報紙 新人生黄色傘 その他
会議費	30,000	42,226	12,226	総会・役員会
事務費	50,000	62,568	12,568	通信費領収書用紙作成他
負担金	115,000	111,722	△ 3,278	県交母他
研修費	50,000	91,470	41,470	バス高速代・その他
雑費	20,000	48,060	28,060	会員用帽子
予備費	5,000	0	△ 5,000	
合計	2,100,000	2,061,002	△ 38,998	

収入合計 2,099,087円 支出合計 2,061,002円
 差引残高 38,085円 (次年度へ繰越)

平成 30 年度活動報告

- | | |
|--|---|
| <p>4月 新学期立哨
街頭キャンペーン
交通安全教室(～3月)
交通事故ゼロを目指す日
キャンペーン</p> <p>5月 笠間市交通安全母の会総会
「さくら」第12号発行</p> <p>6月 笠間地区交通安全母の会総会</p> <p>7月 茨城県交通安全キャラバン隊
メッセージ伝達式
交通安全子ども自転車大会
飲酒運転撲滅キャンペーン</p> <p>8月 笠間のまつりキャンペーン</p> | <p>9月 茨城路セーフティーロードの日
一斉立哨
交通事故死ゼロを目指す
一斉立哨
高齢者世帯訪問(～2月)</p> <p>10月 笠間市交通安全母の会
視察研修
ふるさとまつり in かさま
交通安全啓発活動</p> <p>11月 いばらき教育の日推進大会
交通安全茨城県大会参加</p> <p>12月 県外研修
県内一斉年末街頭立哨
年末交通事故防止
県民運動キャンペーン</p> <p>1月 後継リーダー養成研修会</p> <p>2月 笠間地区交通安全母の会
連絡協議会研修</p> |
|--|---|



交通安全県民運動年間スローガン

気をつけて 子供に自転車 お年寄り



笠間市交通安全母の会におかれましては、「交通安全は家庭から」の理念のもと、安達会長をはじめ役員、会員の皆様には、子どもや高齢者の交通事故防止活動を積極的に推進されていることに敬意と感謝を申し上げます。

笠間市内の交通事故の発生状況は、平成30年中は人身事故が250件(10件減)、交通事故による死者数6人(3人増)、負傷者数319人(2人減)と、平成29年と比べまして死者数は増加したものの、発生件数、負傷者数ともに減少しております。

これは、これまで笠間市交通安全母の会が活動してきた街頭キャンペーンや高齢者世帯訪問、交通安全教室などの交通事故防止活動が市民の交通安全意識を向上させ、交通事故の減少に成果を上げたのです。

「交通事故のない社会」を目指して
 笠間警察署交通課長 鈴木 健之

平成30年度 茨城県交通安全ポスター作品コンクール

- 【最優秀賞(茨城県知事賞)】
 茨城県立友部特別支援学校
 小学部 3年 矢萩 陸基
- 【茨城県交通安全協会会長賞】
 茨城県立笠間高等学校 2年 瀬谷 葉月

笠間警察署としても、第一〇次笠間市交通安全計画にある交通事故死者数を3人以下、発生件数を240件以下の目標を達成し「交通事故のない社会」を実現できるよう諸活動を推進していきますので、今後とも協力のほどをお願い致します。

警察官と一緒に

4/12 稲田小学校踏切の渡り方



4/12 笠間中学校1年生自転車教室



ケンちゃんとお約束



4/18 みなみ学園 義務教育学校交通安全教室



自転車点検の合言葉

- ぶ プレーキ
- た タイヤ
- は 反射材
- しゃ 車体
- べ ベル



TOPICS!

10/20



反射オリジナル
バッチを
作りました。

ふるさとまつり

11/20



高齢者世帯訪問

7/20



飲酒運転撲滅キャンペーン

自転車の安全利用の推進 ゼロ

自転車は車両です!

【自転車安全利用五則】

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 子供はヘルメットを着用



笠間地区 交通安全母の会視察

去る10月9日、さいたま市岩槻区にあるNEXCO東日本関東支社の道路管制センターを見学しました。この管制センターは、平成28年に地上3階建てに建て替えられ、大規模な地震が起きても業務が継続できるような高い耐震性を備えた構造となっているのだそうです。

また、案内の方から、高速道路で見かける非常電話の使い方やパトロールカーの役割の説明もありました。(非常電話は、1kmおきにあり、緊急の際の連絡用として、受話器を取るだけで道路管制センターにつながるということでした。)

さらに、圧巻だったのは、全国の道路管制センターの中で最大規模だという交通管制用のディスプレイです。55型の液晶ディスプレイ8段14列の112面から成り、関東エリアの路線図が一望できらうえに、周囲に並ぶ画面では、高度なシステムを駆使して集められた事故や

渋滞、施設の不具合などの実際の映像を見ることができました。併せて、その情報を迅速に利用者知らせ、私たちが安心して安全・便利に高速道路を利用できるように、警察とも連携を図りつつ、24時間365日体制で見守ってくれているのが、この道路管制センターであることを知った今回の研修でした。(Y・I)



編集後記

今回さくら13号を発行できました事を皆様に感謝しお礼申し上げます。(編集委員)

「編集担当」

- 安達あき子・川松 艶子
- 井坂 典子・和田 順子
- 富田 文子